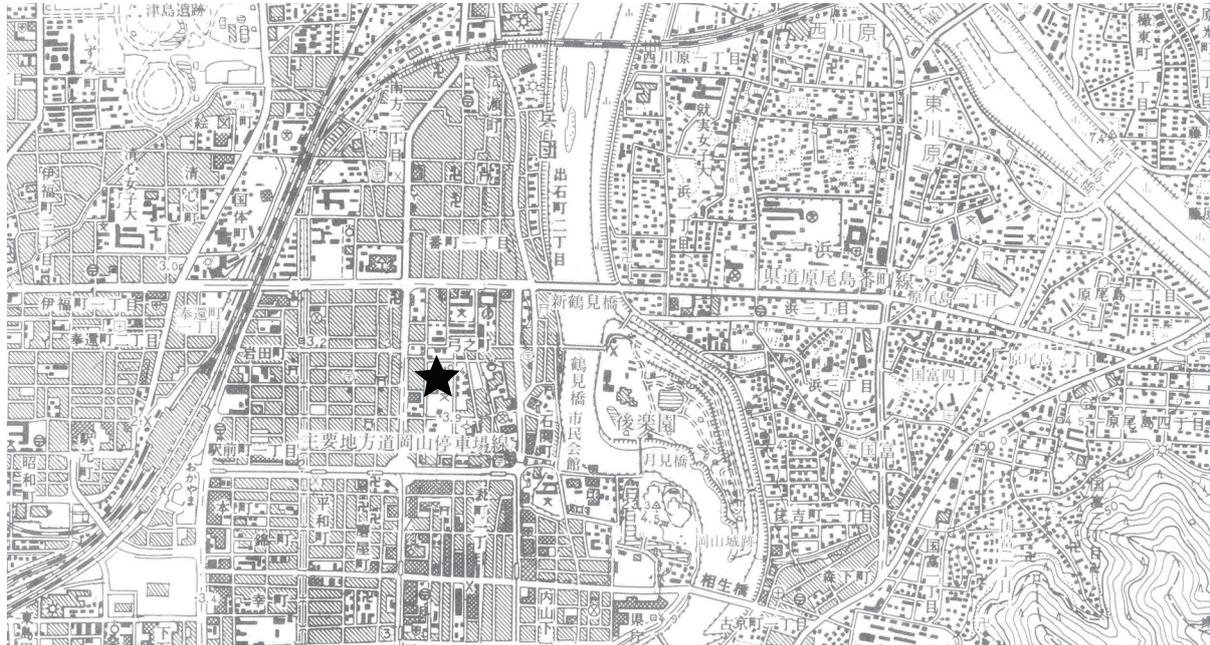


岡山城三之外曲輪跡

安川 満

【遺跡の位置】



S=1/25,000

【遺跡の概要】

調査地点は岡山城三之外曲輪の北西部にあたる。ここには寛文九(1669)年、岡山藩藩学が開設されており、南の中学校敷地の一部は史跡に指定されている。調査地点は藩学中核施設の背後にあたり、調査区北半は藩学の縮小により十八世紀以降は武家屋敷地となる。明治時代以降は岡山県師範学校、岡山県女子師範学校などが置かれた。

近世遺構面は藩学開校以前、以降に大きく分けられる。藩学期の検出遺構は、礎石建物、礎敷き道路、ゴミ穴、井戸などがある。礎石建物1、礎敷き道路遺構は寛文期の藩学絵図に描かれた建物、通路に一致する。これらはいずれも藩学が縮小する一八世紀初頭以前の遺構とみられ、藩学開校時の状況を窺わせる。

藩学以前の遺構面では水路や井戸、炉壁が多量に廃棄された土抗(SP334)などを検出している。SP334は深い素堀井戸状の土坑で、上層にこしき炉と呼ばれる精錬炉の炉壁が廃棄されていた。出土遺物はごく少ないが、十七世紀初頭に遡る可能性があり、岡山城三之曲輪の整備に関わる遺構である可能性がある。

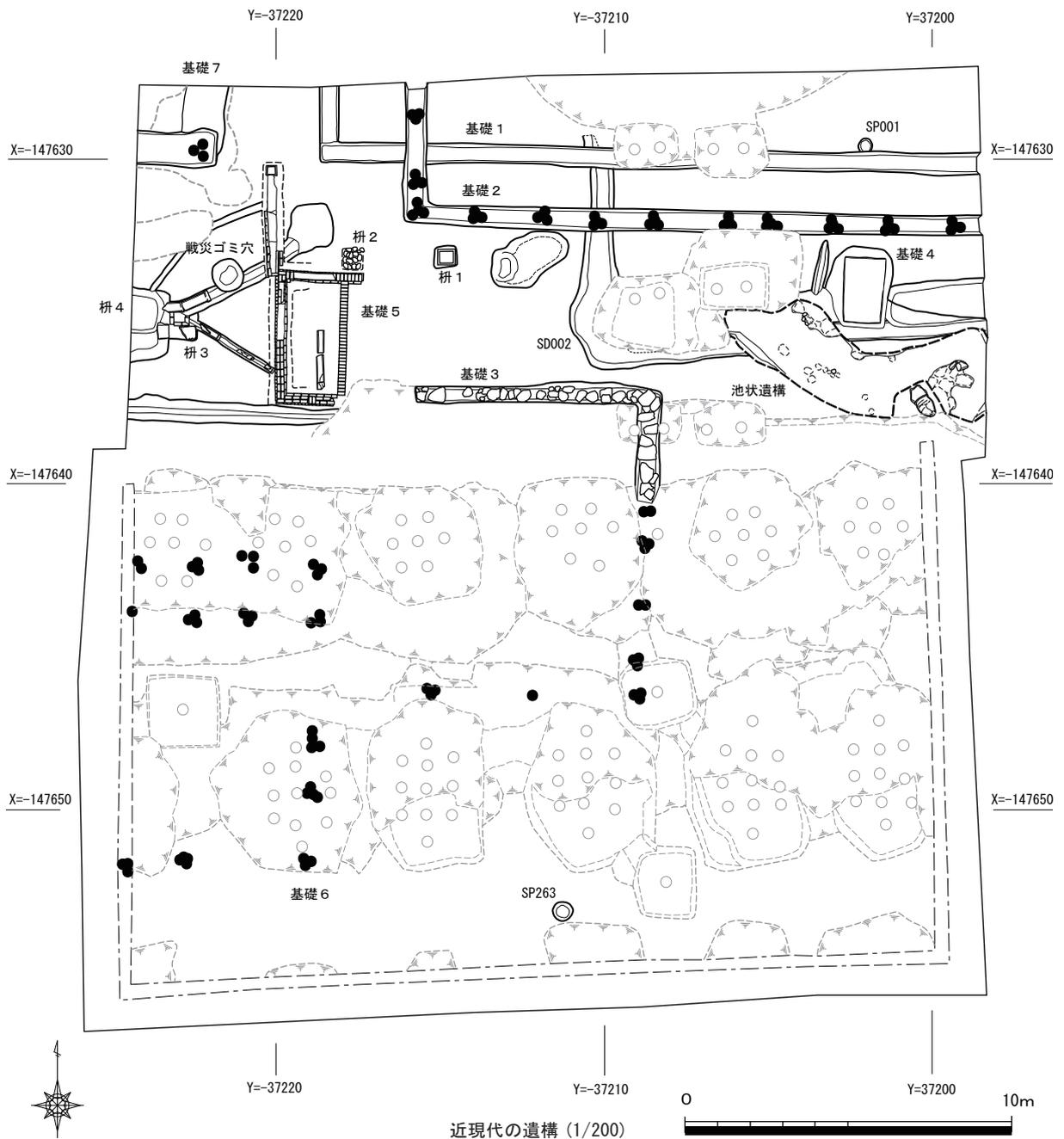
中世以前では平安時代の溝、弥生後期前半の粘土採掘坑などを検出している。

【文献】

岡山市教育委員会 2008年『岡山城三之外曲輪跡・旧岡山藩藩学跡』

【交通】

岡電バス「県民局入口」バス停下車、徒歩5分



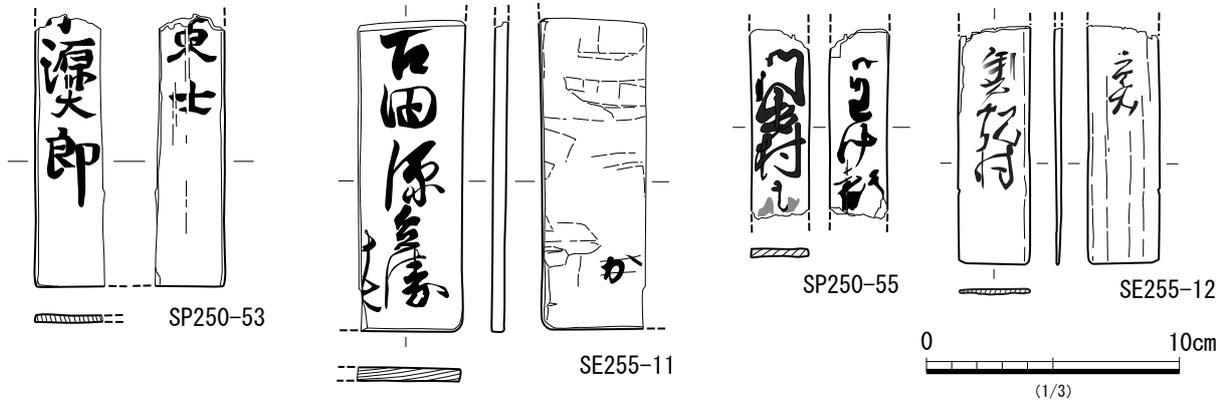
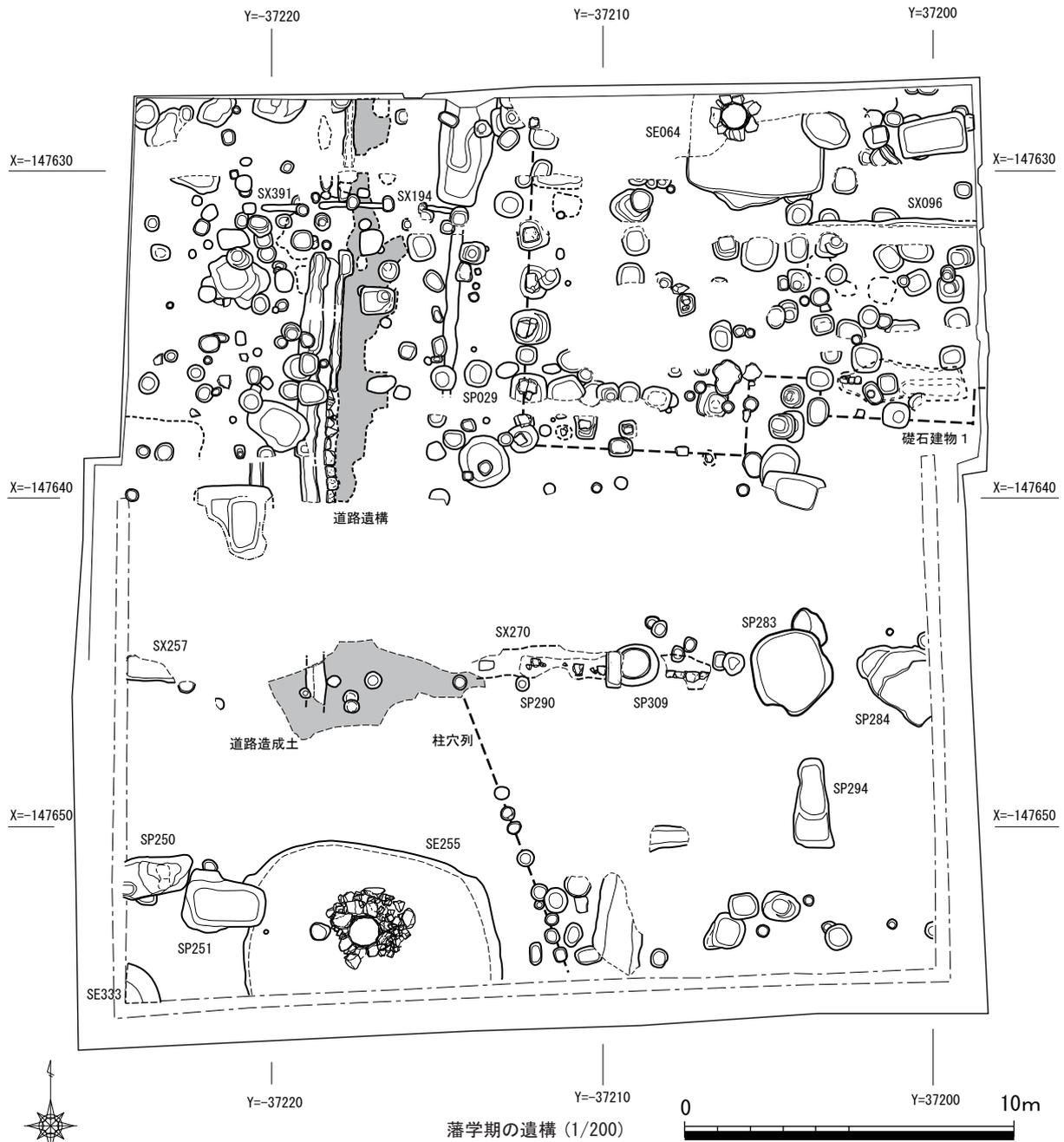
近現代の遺構 (1/200)



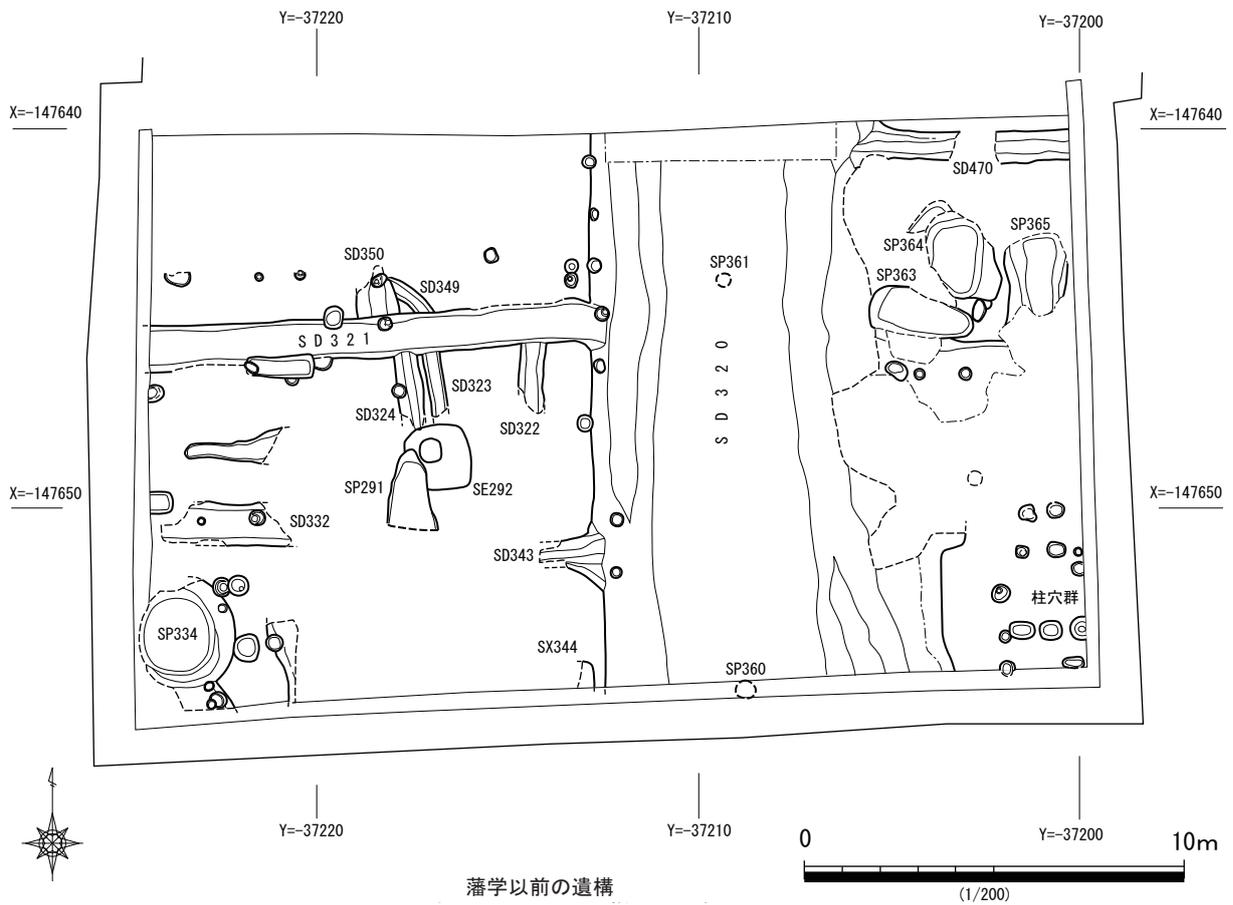
女子師範学校平面図 (『記念誌』より)

	西暦	和暦	
江戸時代	1632年	寛永9	侍屋敷(「岡山古図」)
	1643年	慶安期	円乗院、侍屋敷(「岡山城下之図」)
	~		
	1651年		
	1669年	寛文9	岡山藩藩学開校
明治	1708年	宝永5	学校、池田主膳屋敷
	1863年	文久3	学校、侍屋敷
	1868年	明治元	明治維新
	1872年	明治5	藩学廃止
	1876年	明治9	岡山県師範学校
大正	1911年	明治44	岡山県女子師範学校
	1936年	昭和11	第二岡山高等女学校 (岡山県女子師範学校に併設)
昭和	1943年	昭和18	岡山師範学校女子部
	1945年	昭和20	岡山大空襲
	1948年	昭和23	岡山市立旭中学校
平成	1999年	平成11	岡山市立岡山中央中学校

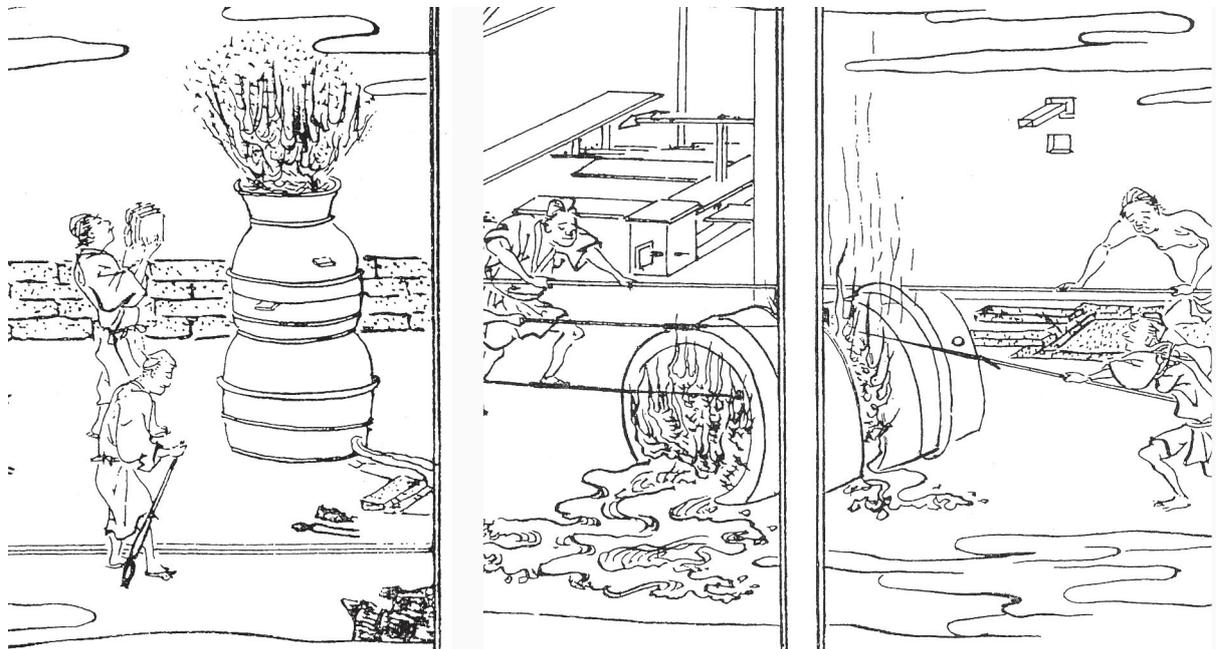
調査地点の変遷



藩学関連遺構出土の名札・付け札 (1/3)



藩学以前の遺構



絵図に見える精錬炉（『天保六年江戸橋場鑄銭座絵図』より）